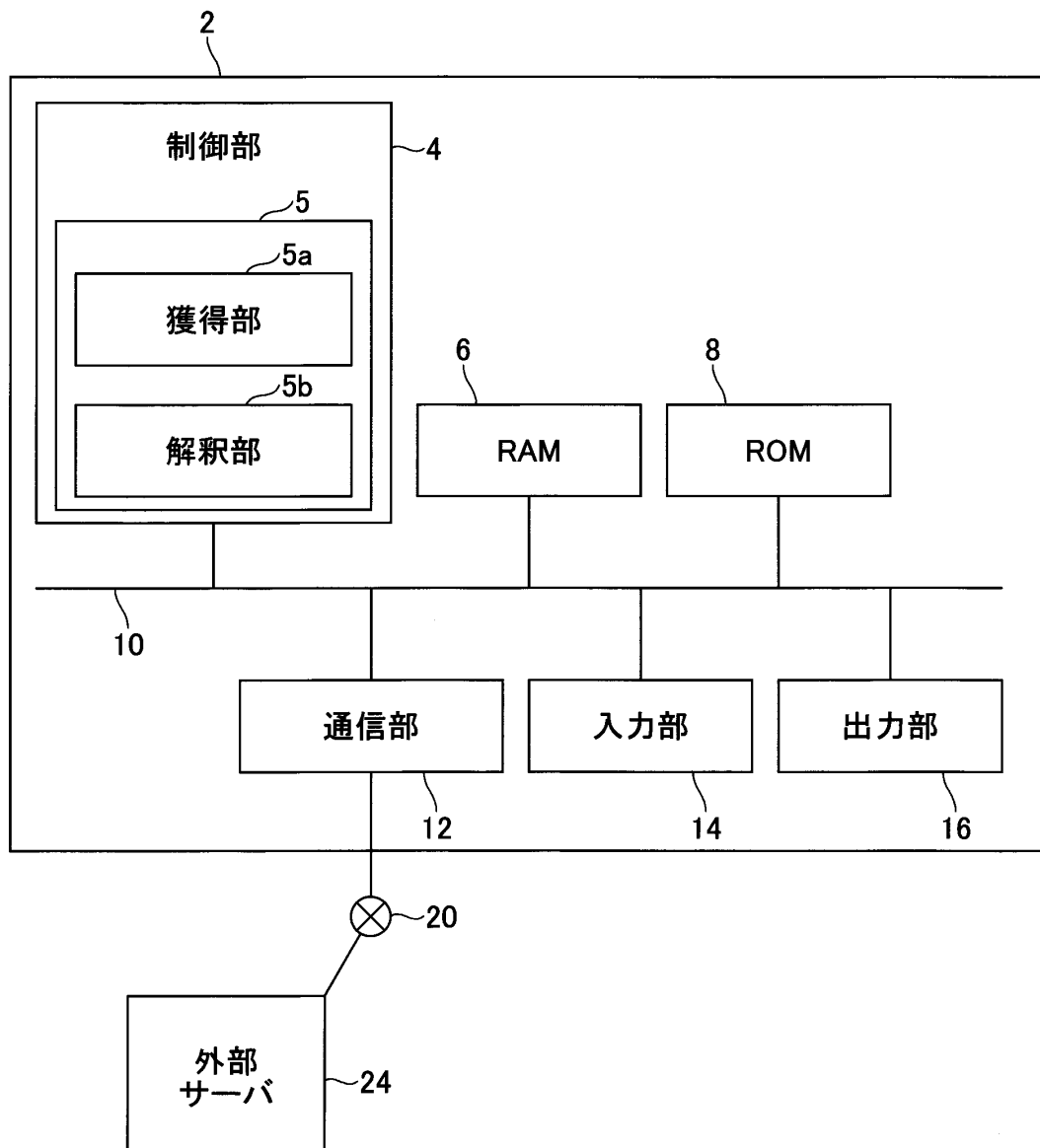
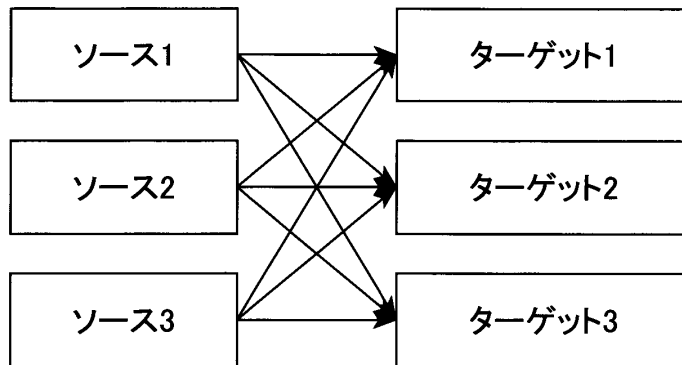


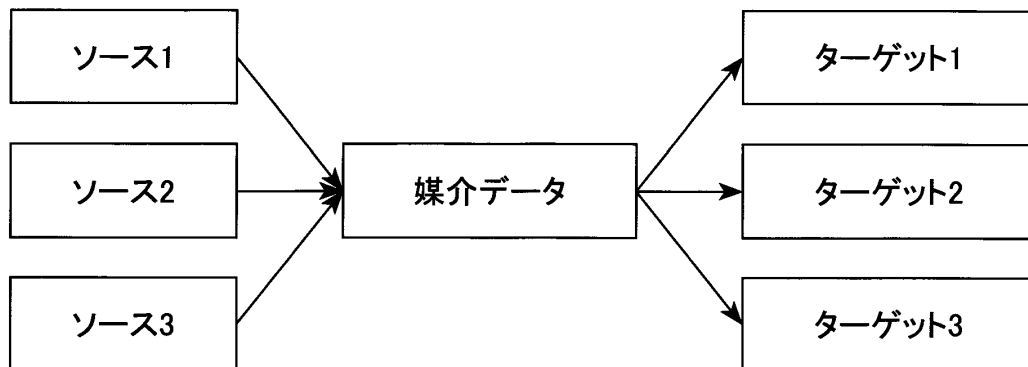
[図1]



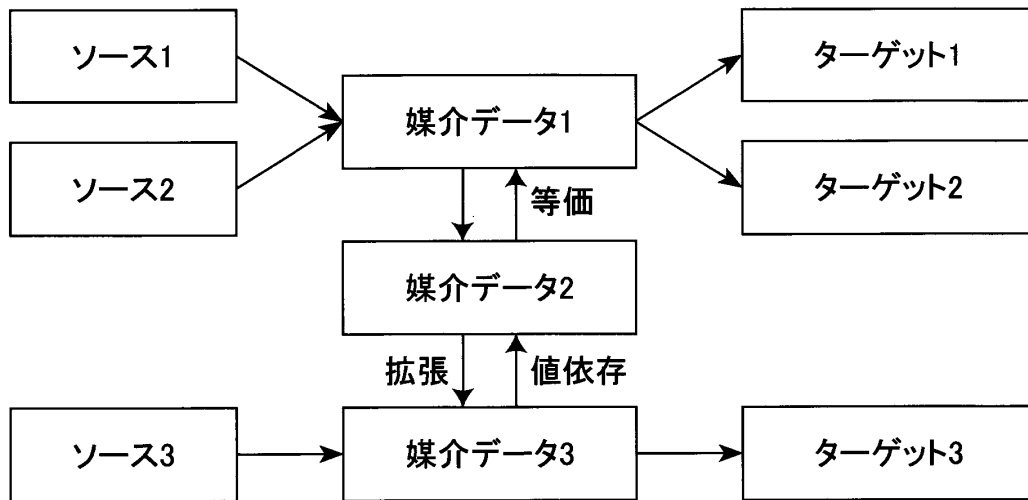
[図2A]



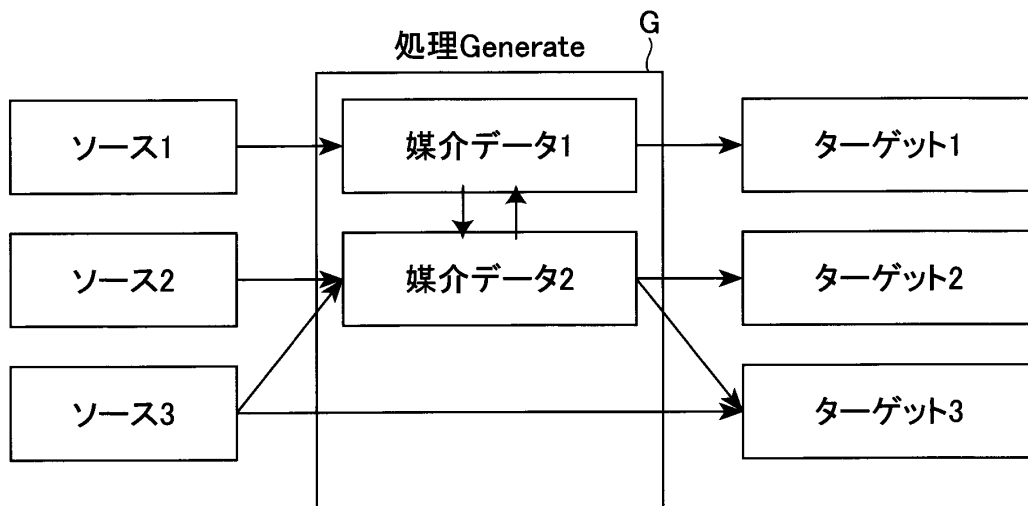
[図2B]



[図3A]



[図3B]

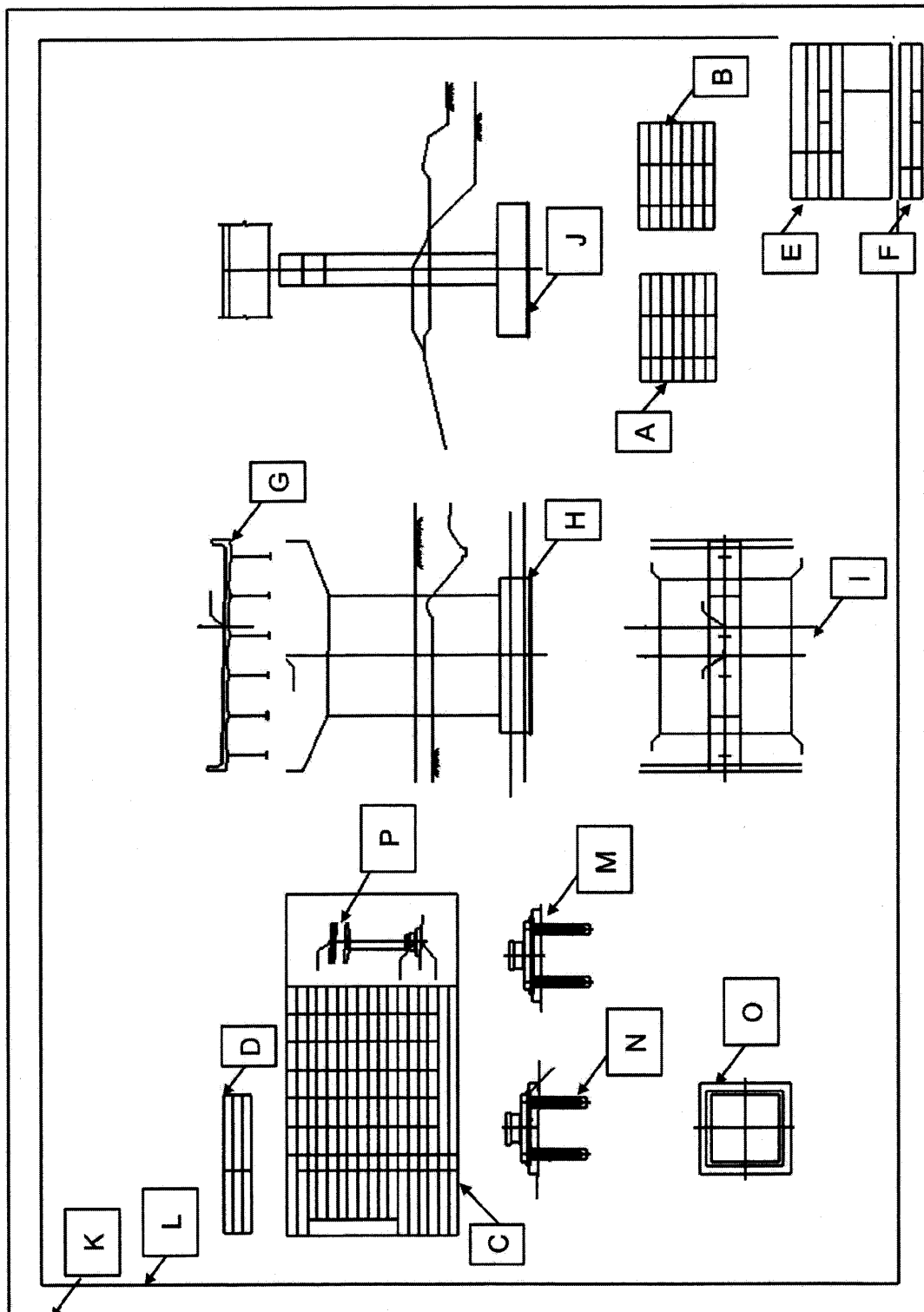


[illegible]

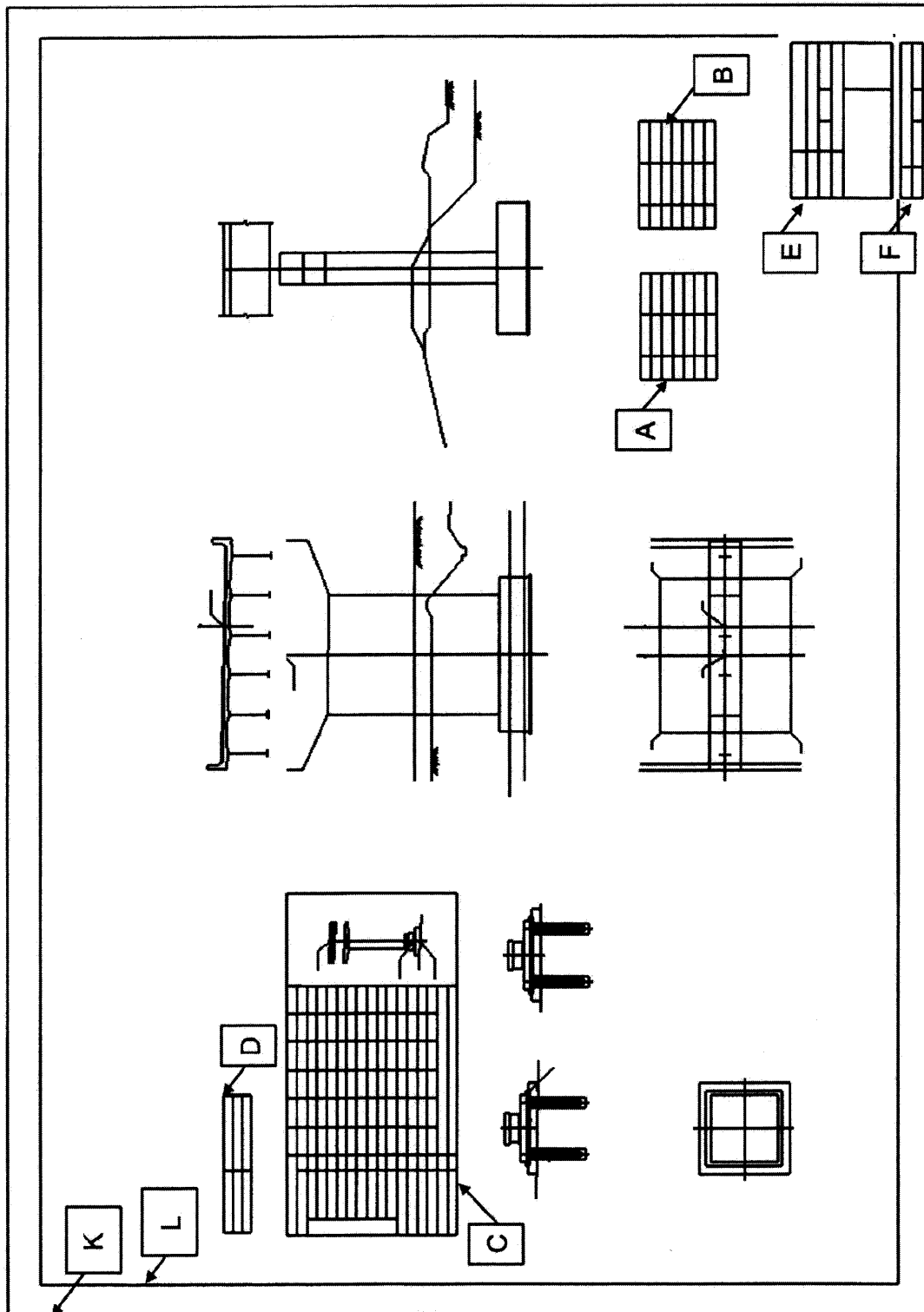
[図5]

工 事 名	工 事		
図 面 名	橋脚構造一般図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設 計 年 月	平成 年 月		
〇〇整備局 〇〇〇〇事務所			

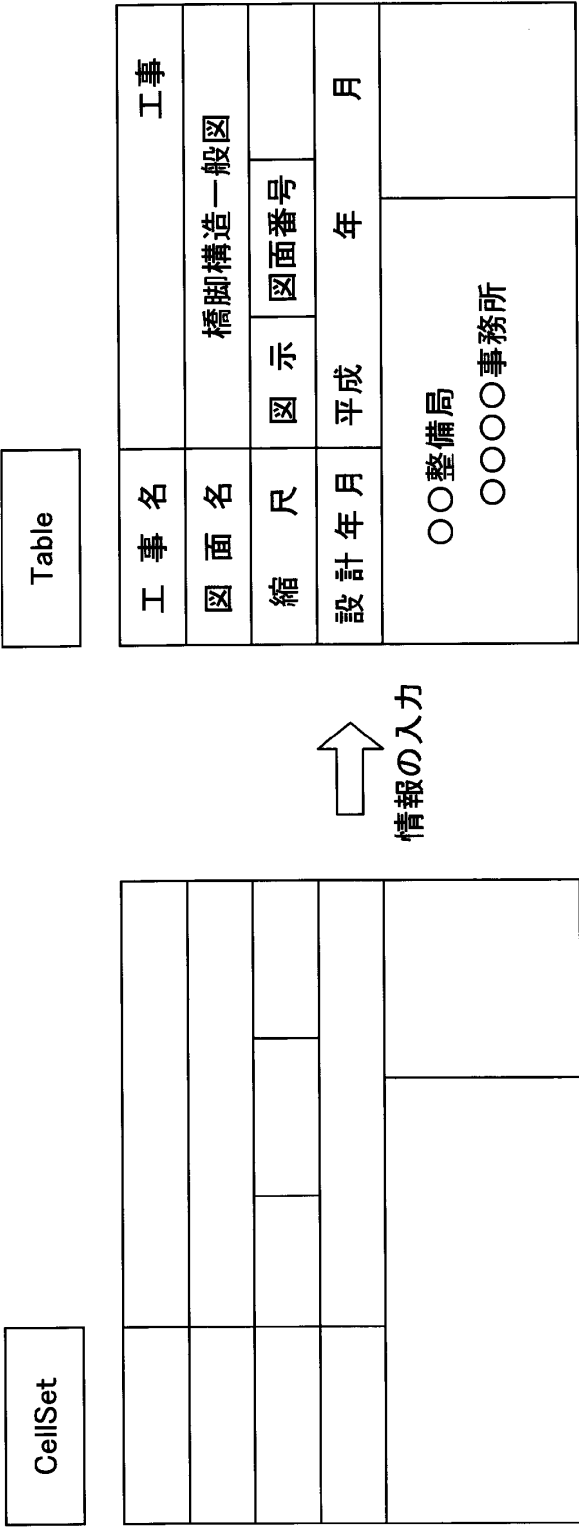
[図6]



[図7]



[図8A]



[図8B]

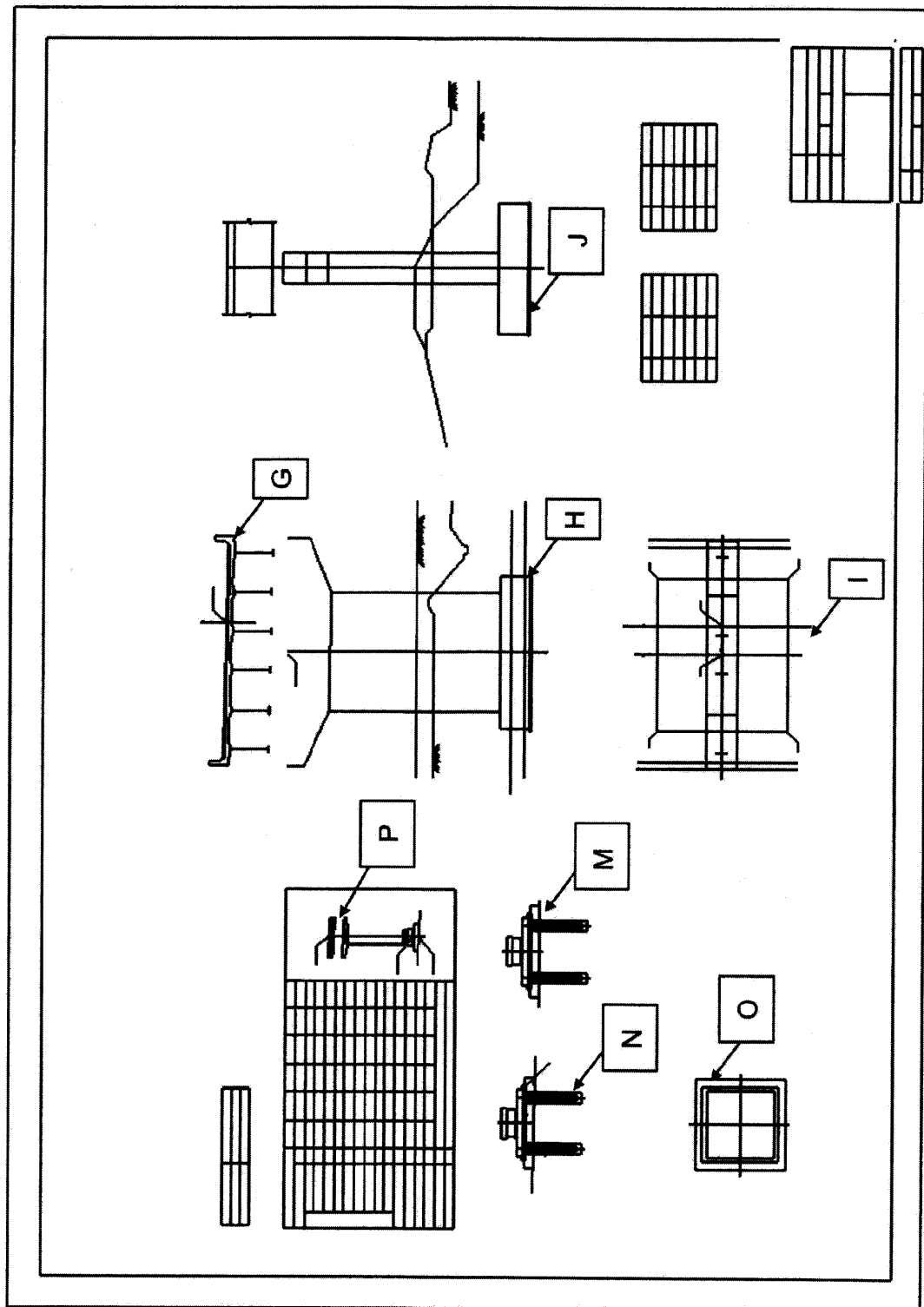
表題欄					
工 事 名		工 事			
図 面 名		橋脚構造一般図			
縮 尺		図 示	図面番号		
設 計 年 月		平 成	年	月	
		〇〇整備局 〇〇〇〇事務所			

↑

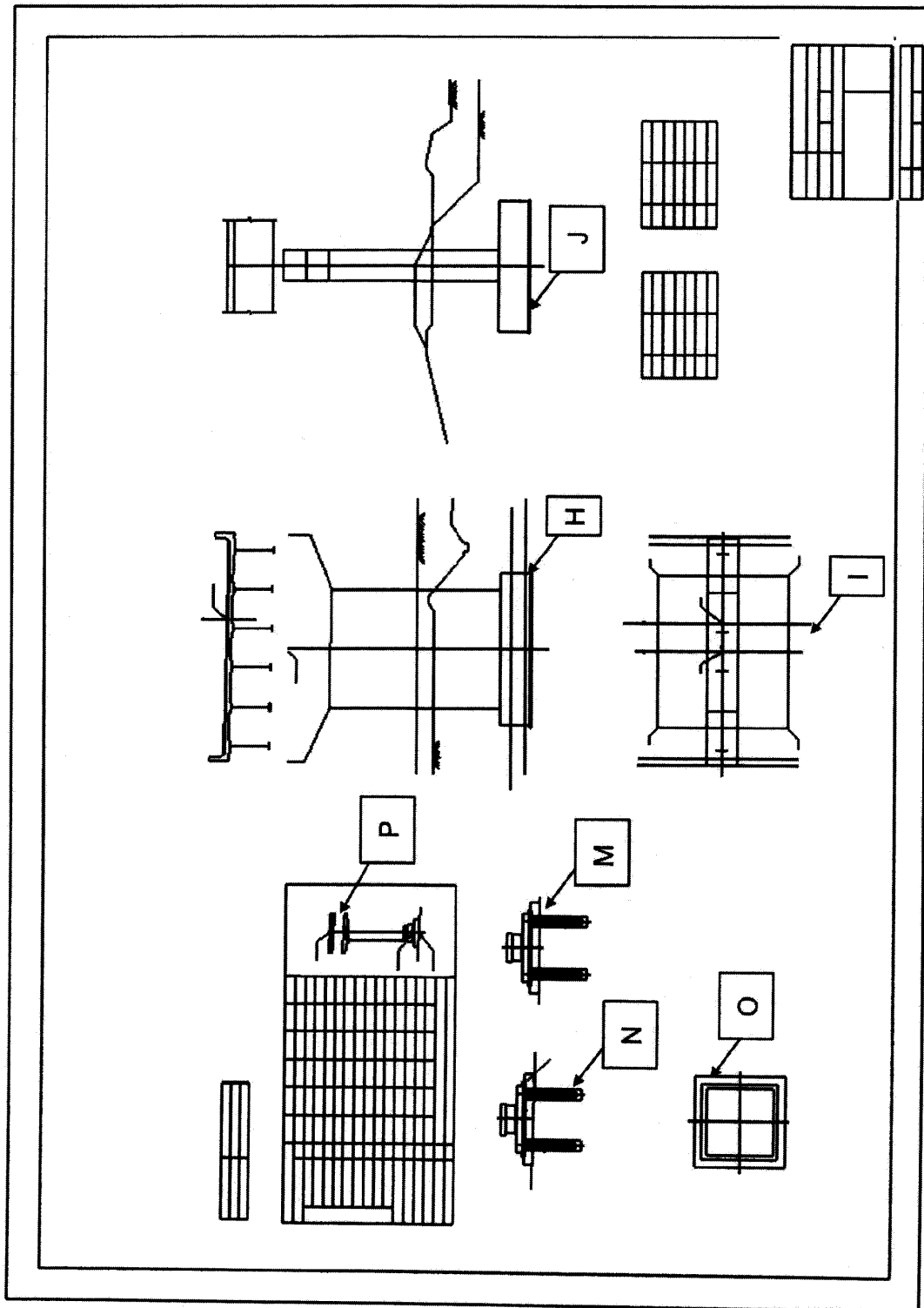
分析・分類

Table		工 事				
工 事 名		橋脚構造一般図			工 事	
図 面 名		橋脚構造一般図				
縮 尺		図 示	図面番号			
設 計 年 月		平 成	年	月		
		〇〇整備局 〇〇〇〇事務所				

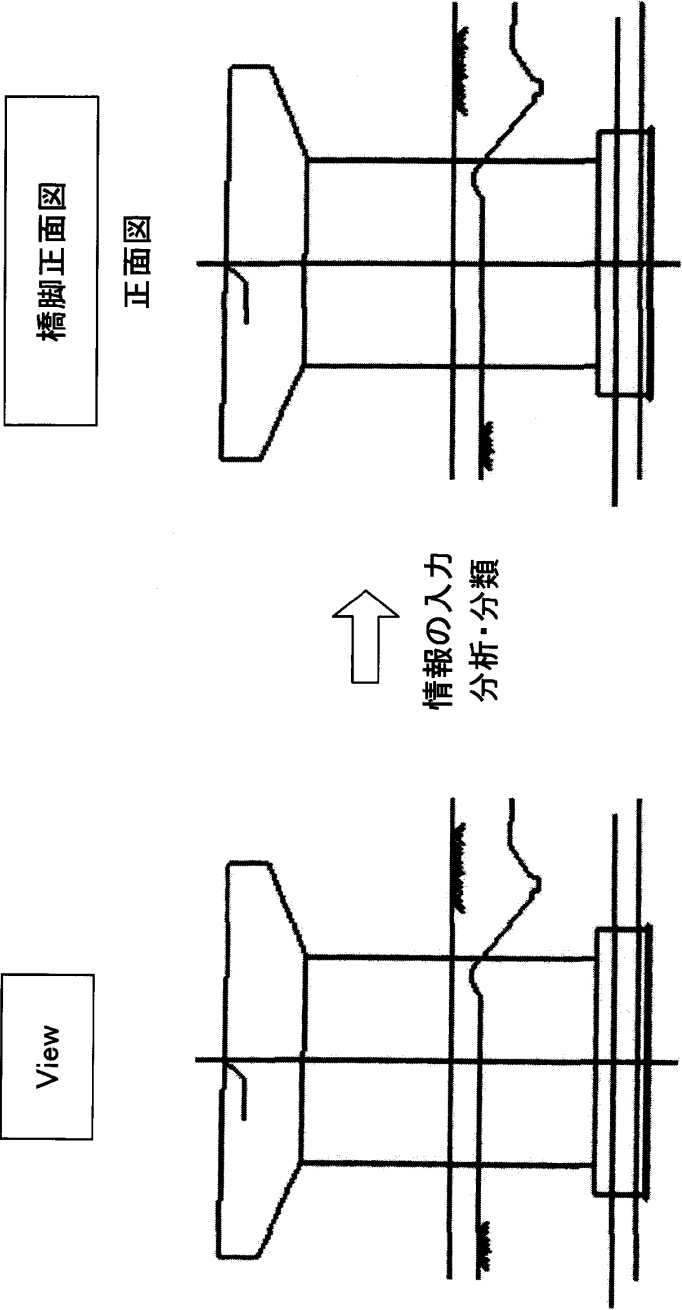
[図9]



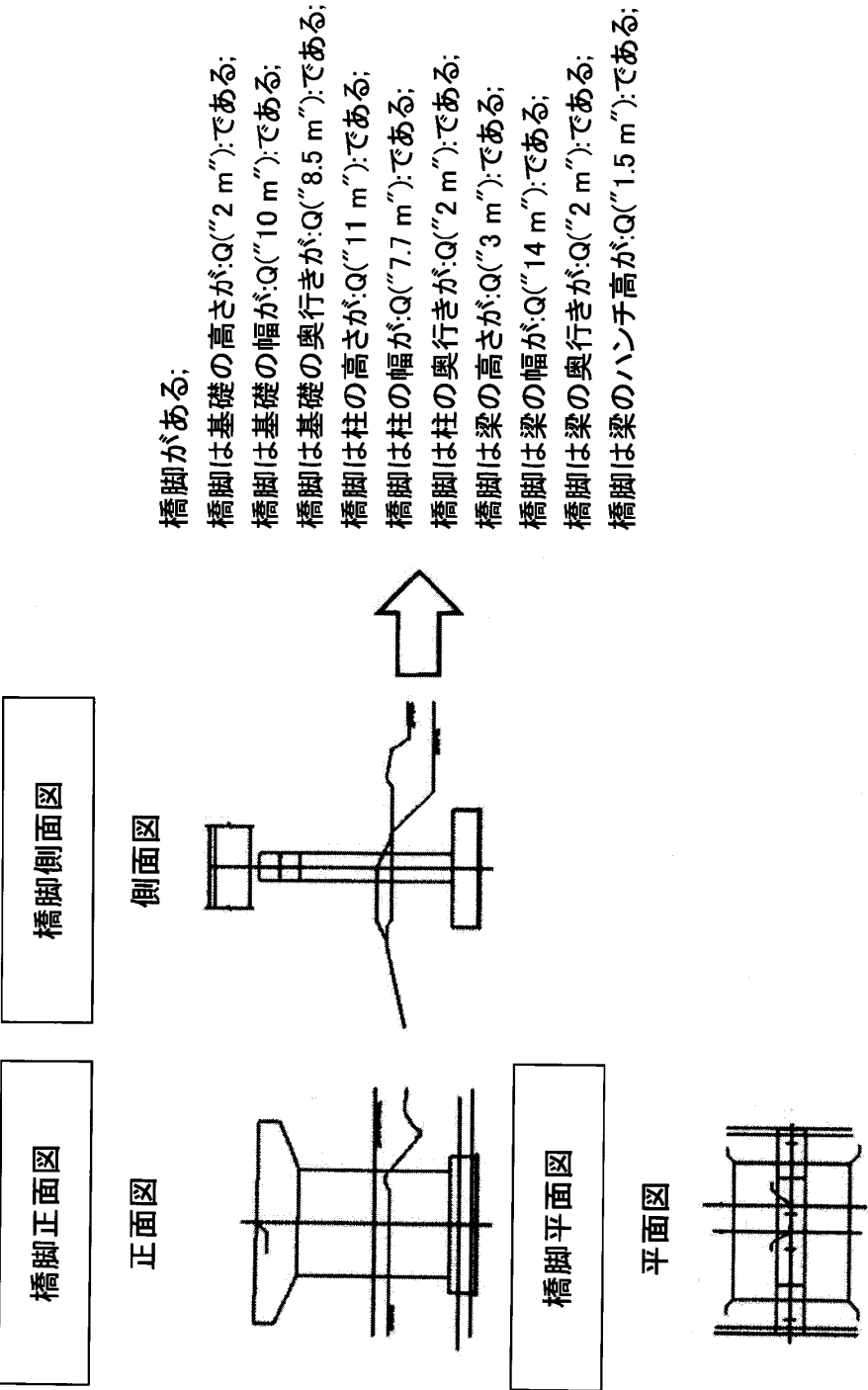
[図10]



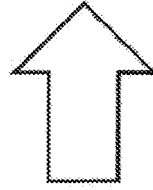
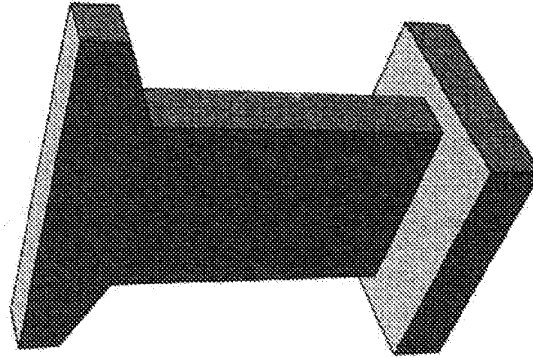
[図11]



[図12A]

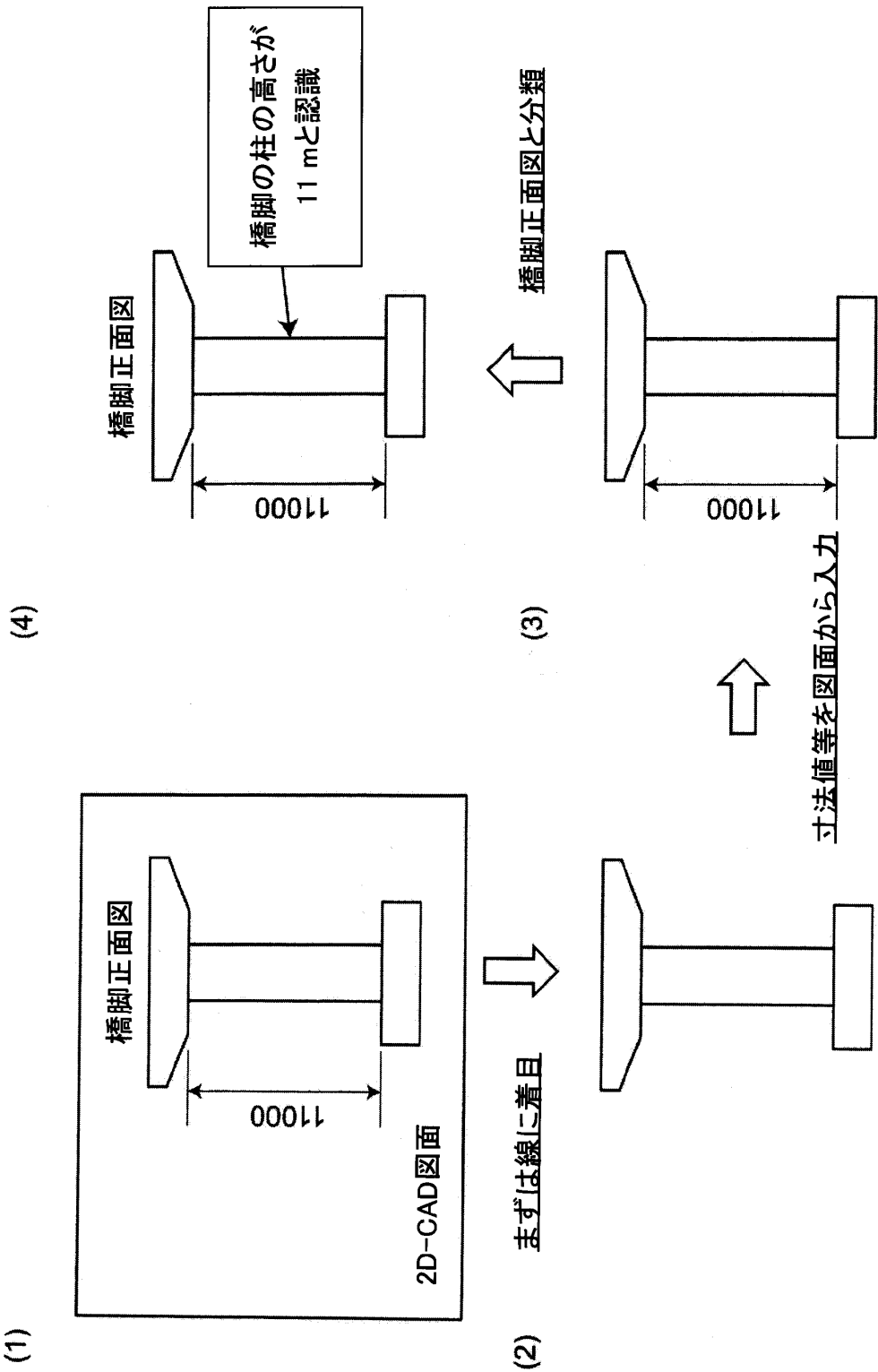


[図12B]

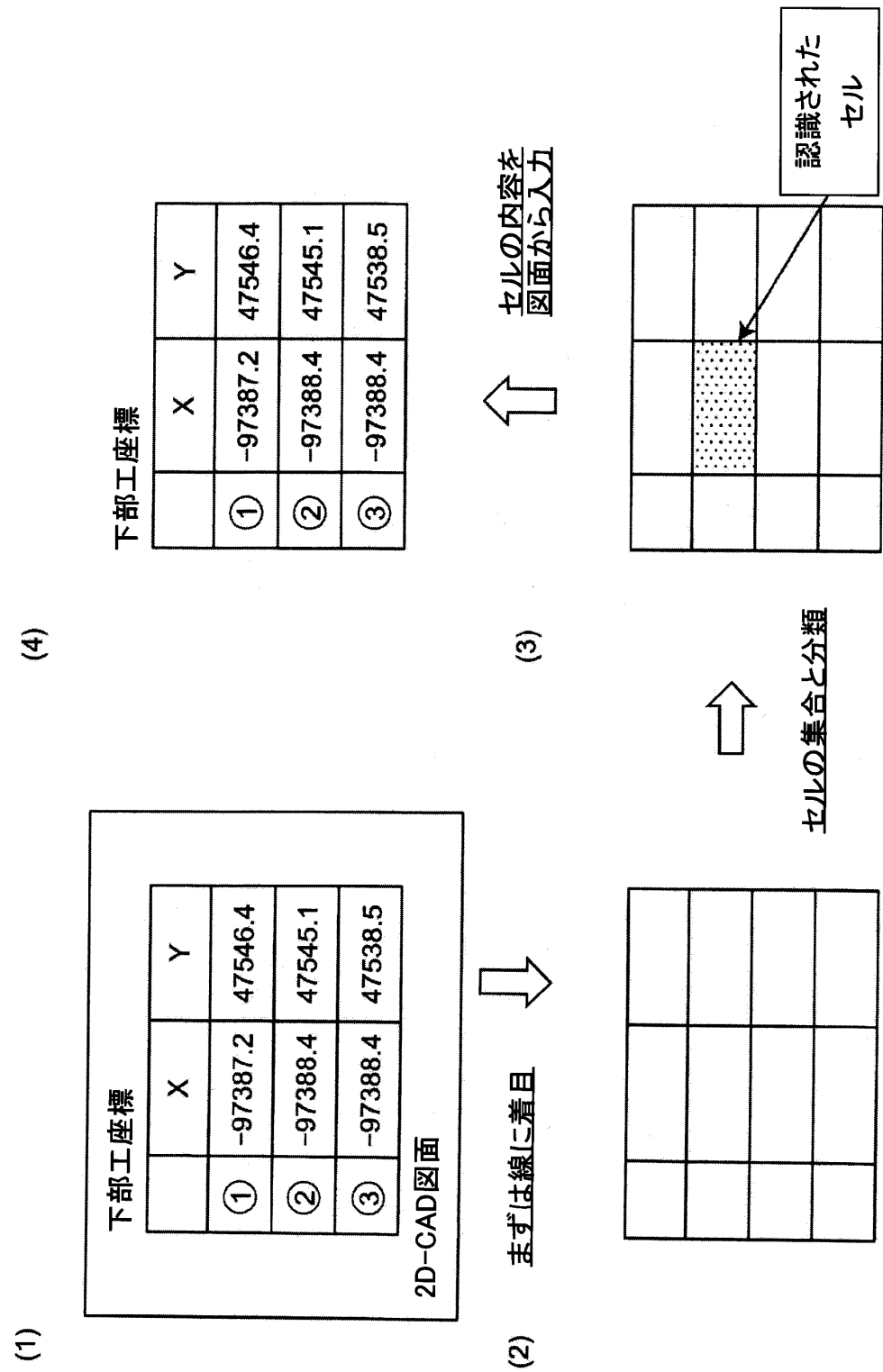


橋脚がある;
 橋脚は基礎の高さが $Q(2\text{ m})$ である;
 橋脚は基礎の幅が $Q(10\text{ m})$ である;
 橋脚は基礎の奥行きが $Q(8.5\text{ m})$ である;
 橋脚は柱の高さが $Q(11\text{ m})$ である;
 橋脚は柱の幅が $Q(7.7\text{ m})$ である;
 橋脚は柱の奥行きが $Q(2\text{ m})$ である;
 橋脚は梁の高さが $Q(3\text{ m})$ である;
 橋脚は梁の幅が $Q(14\text{ m})$ である;
 橋脚は梁の奥行きが $Q(2\text{ m})$ である;
 橋脚は梁のハンチ高が $Q(1.5\text{ m})$ である;

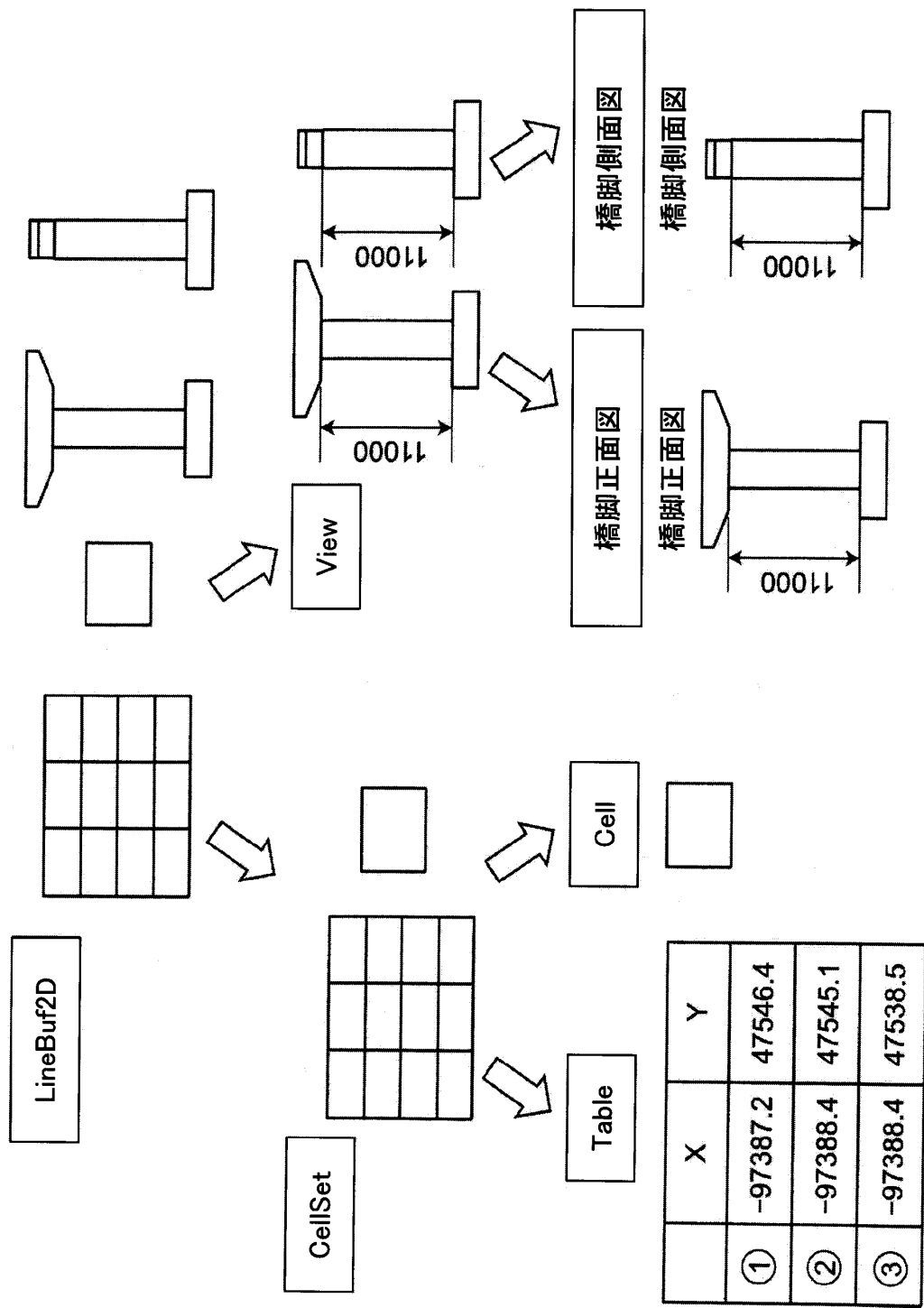
[図13]



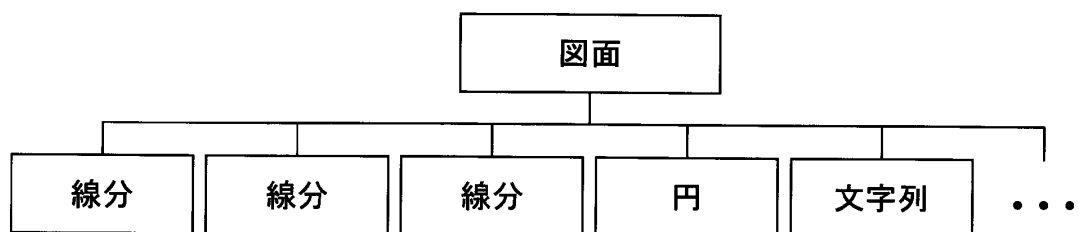
[図14]



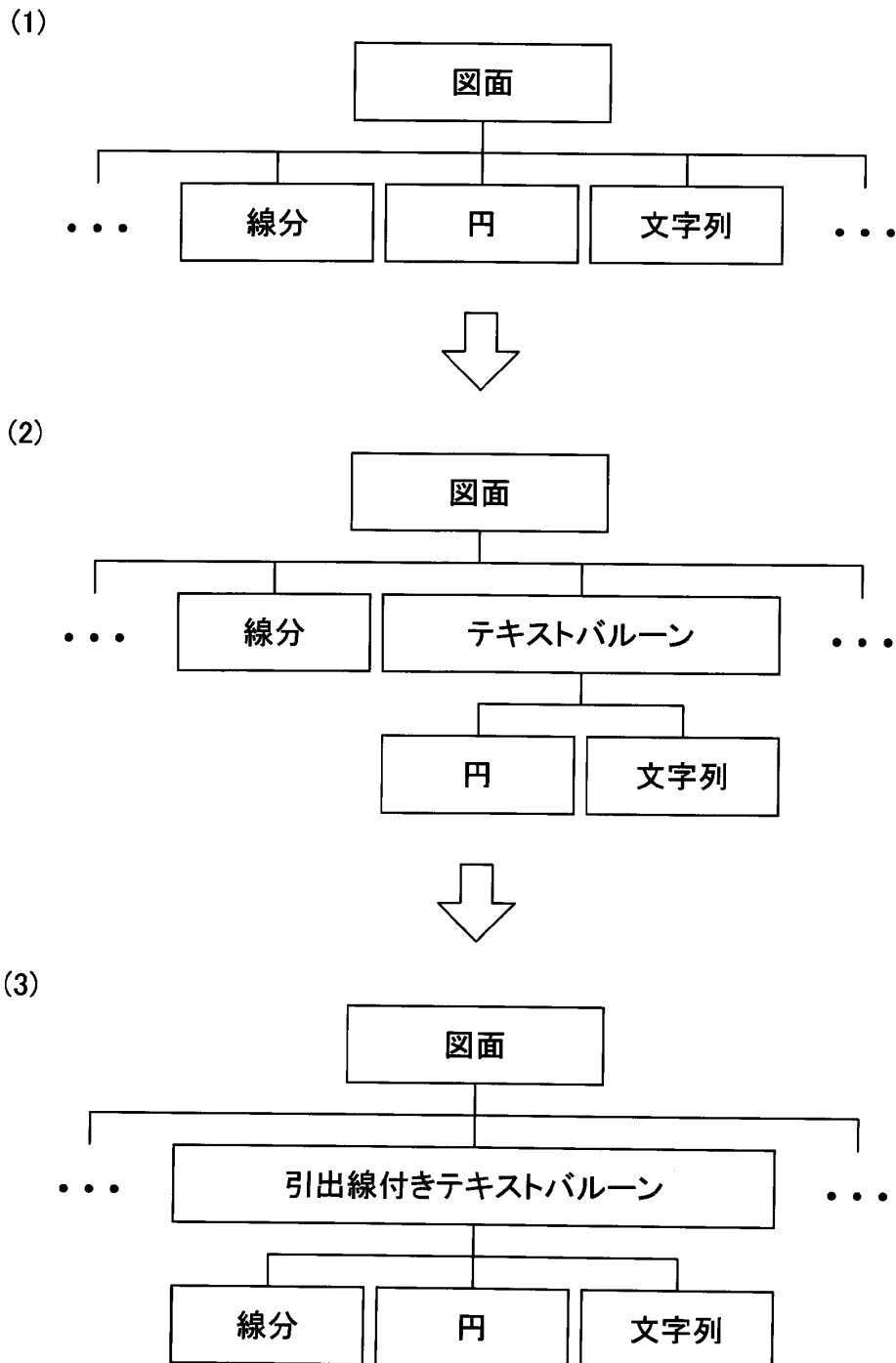
[図15]



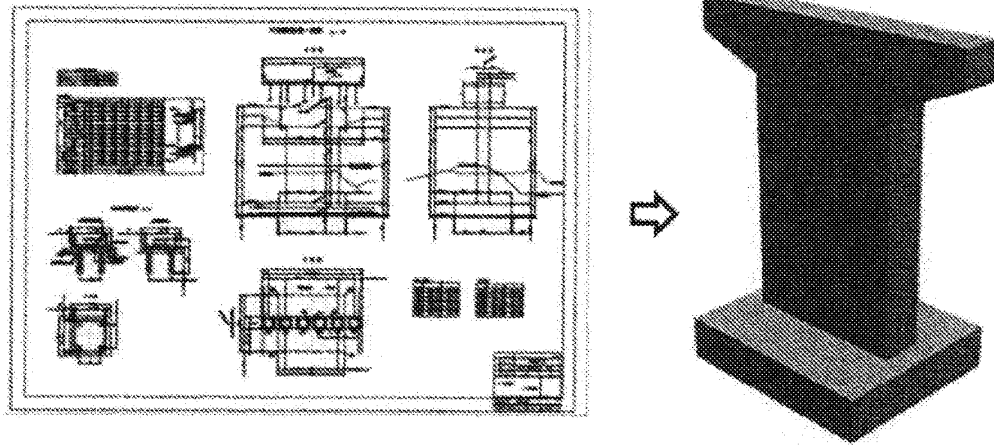
[図18]



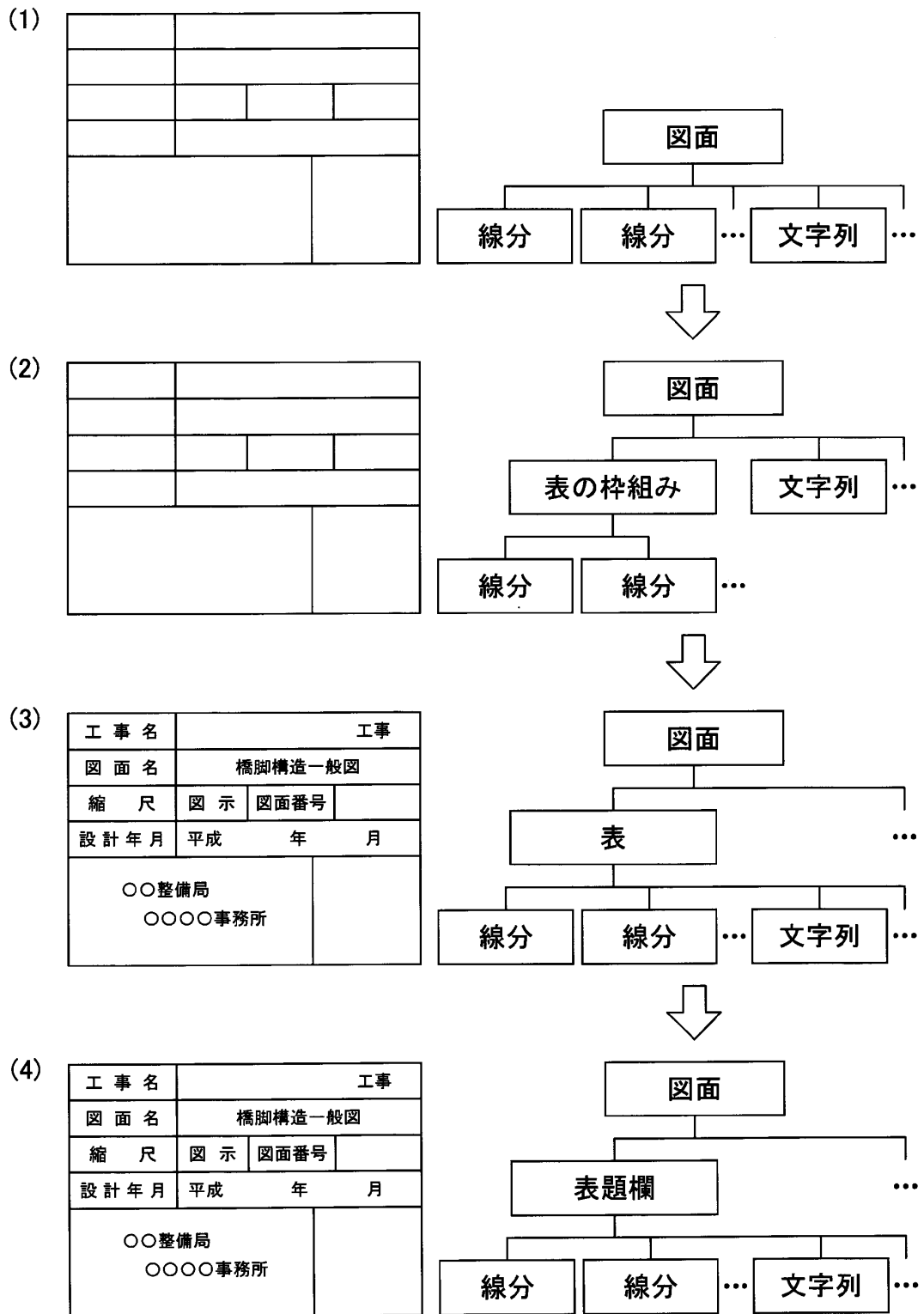
[図19]



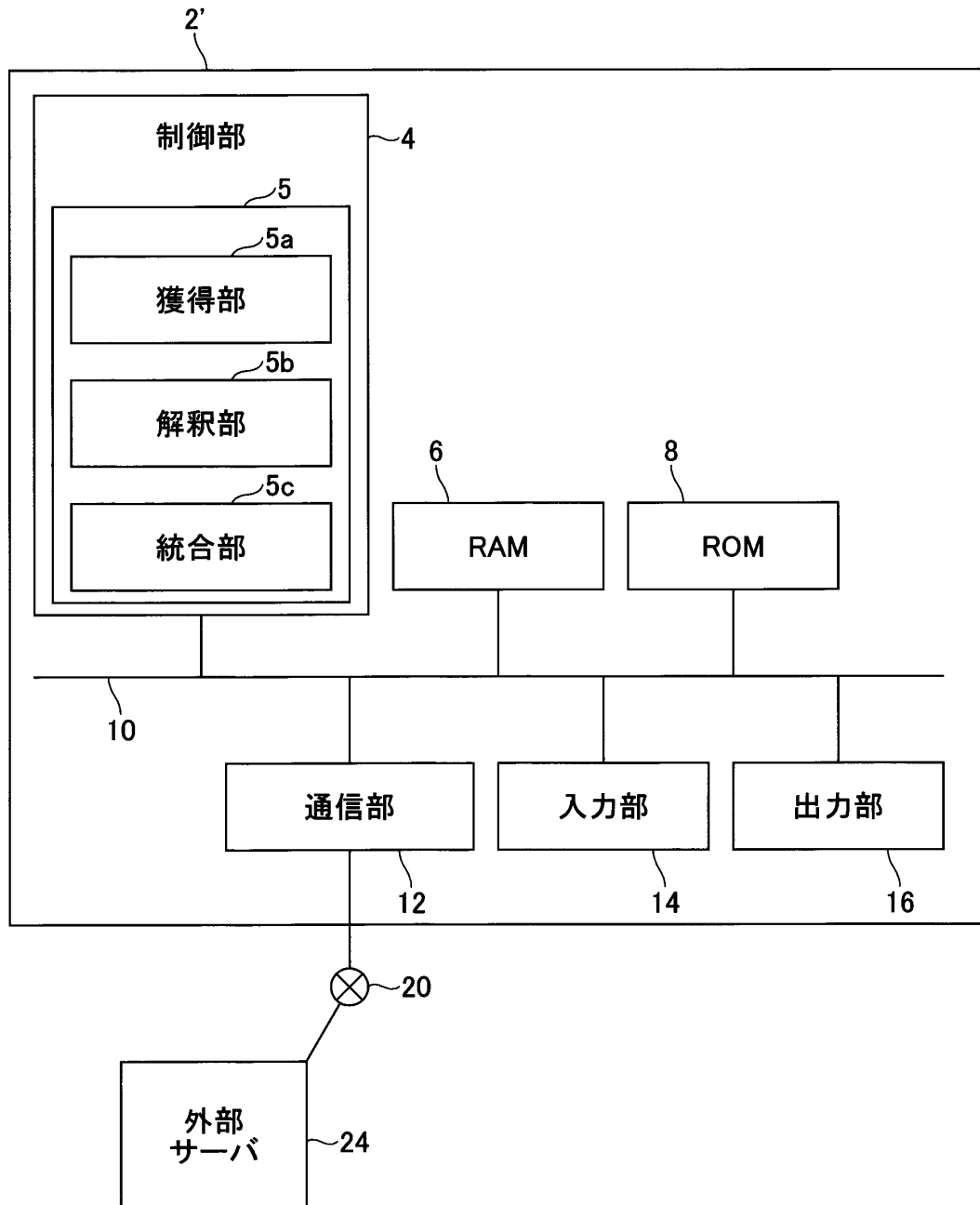
[図20]



[図21]



[図22]



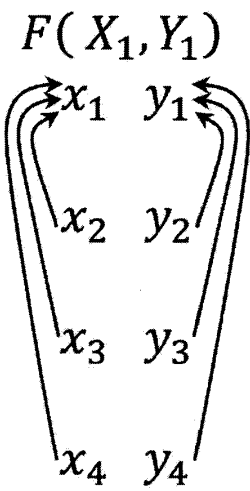
[図23A]

個別に開発する場合

$$\begin{array}{l} F(X_1, Y_1) \\ F(X_1, Y_2) \\ F(X_1, Y_3) \\ \dots \\ F(X_2, Y_1) \\ F(X_2, Y_2) \\ \dots \\ F(X_i, Y_j) \\ \dots \end{array}$$

[図23B]

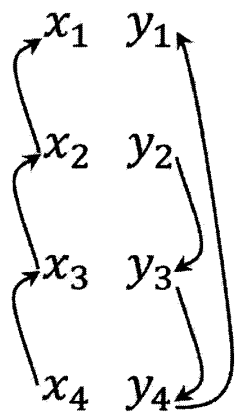
標準形式を利用する場合



[図23C]

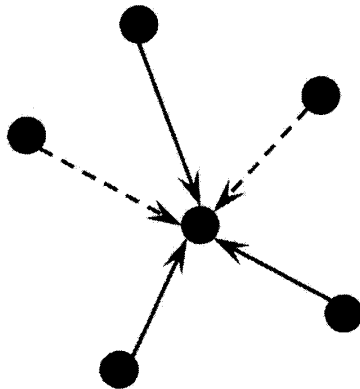
自動変換を利用する場合

$$F(X_1, Y_1)$$



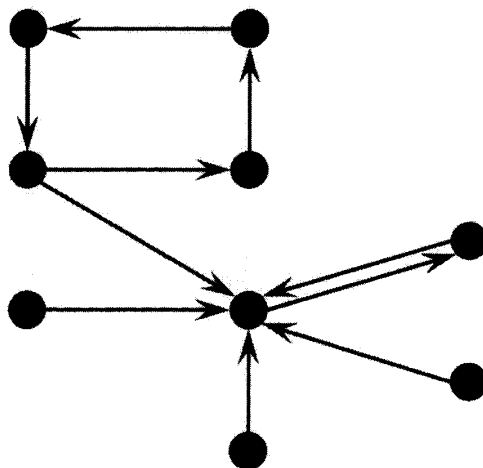
[図24A]

標準の表現形式を中心とする
星形のネットワーク

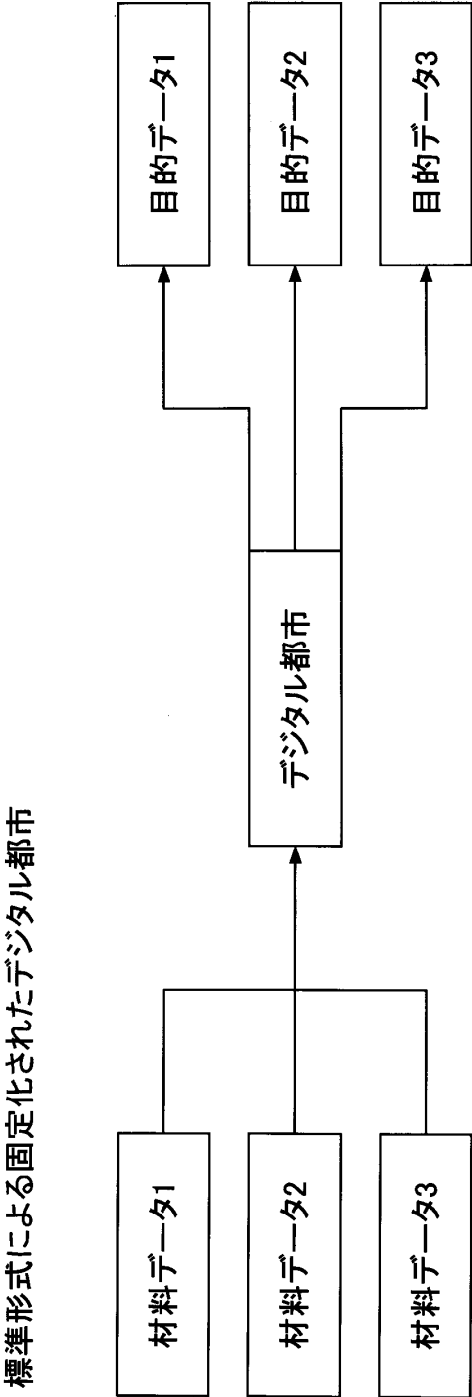


[図24B]

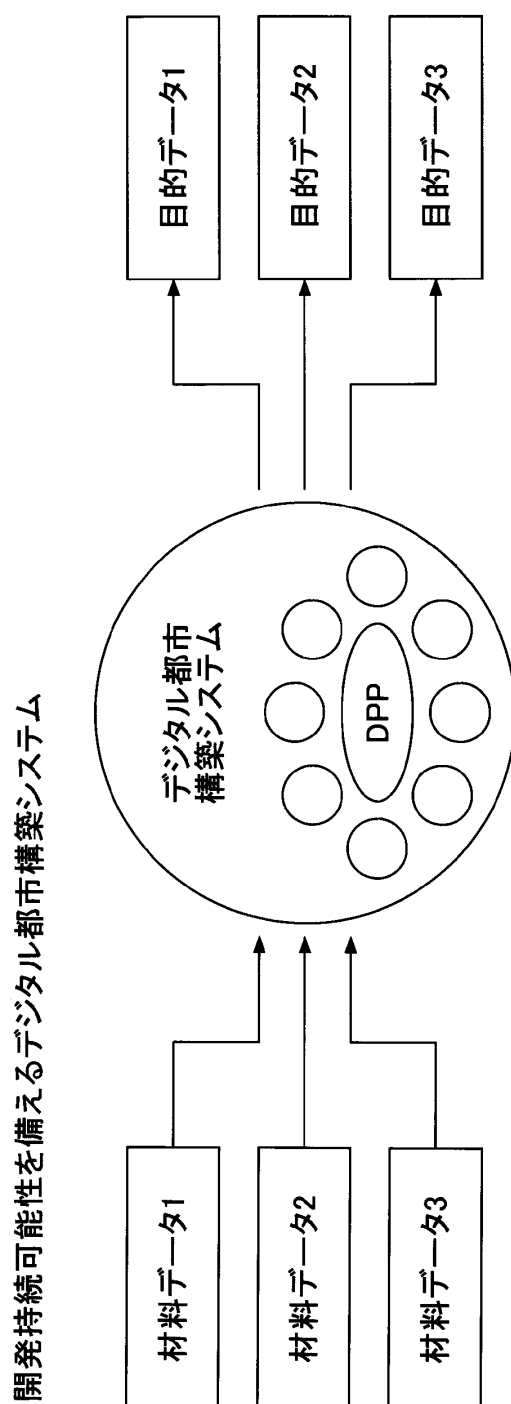
表現形式の自動変換に基づく
自由なネットワーク



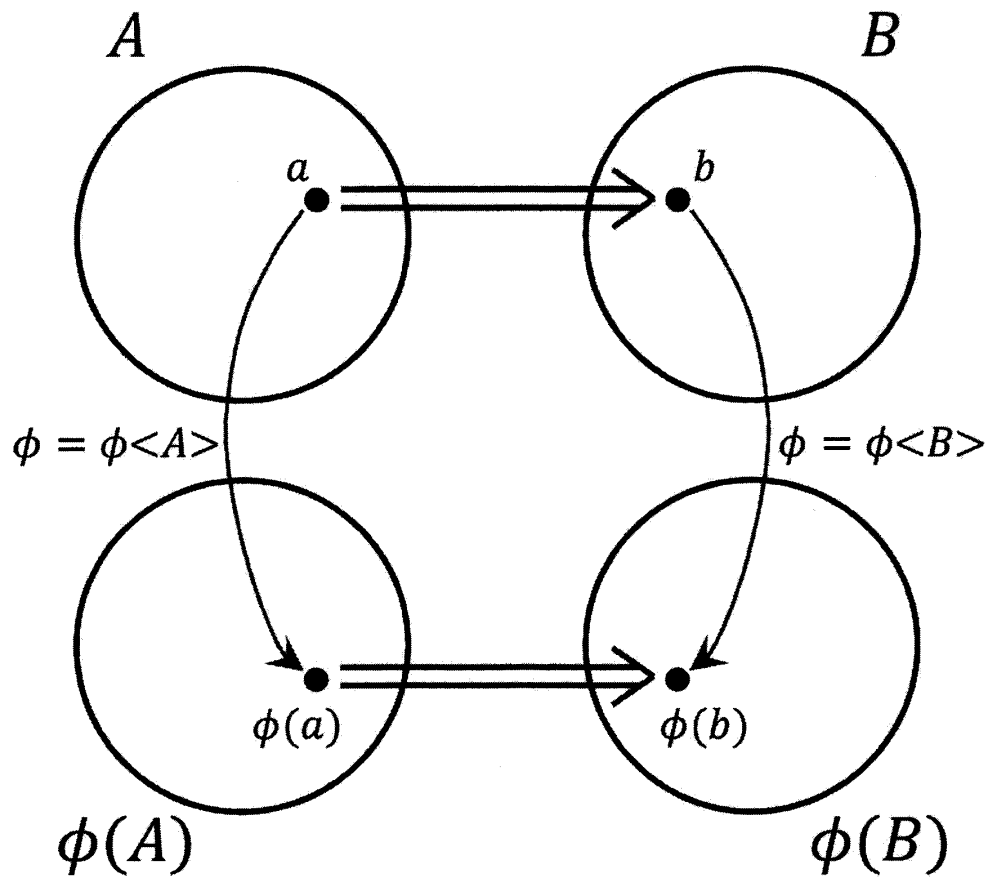
[図25A]



[図25B]



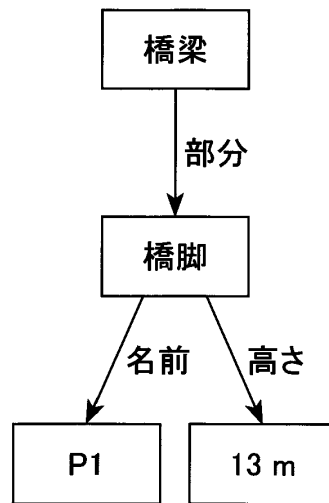
[図26]



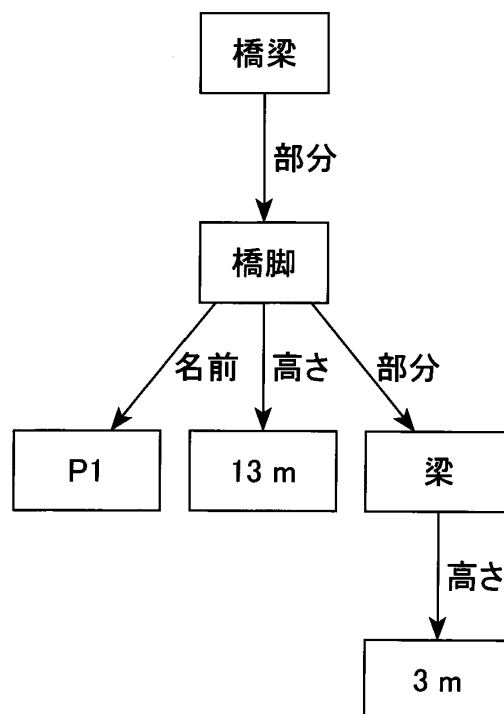
[図27]

```
Library( "DXF");  
Library( "KnowledgeLibrary1");  
  
file1 = File("input/006_P2橋脚構造一般図.dxf");  
file2 = File("input/source2.dxf");  
file3 = File("input/source3.dxf");  
// 読み込みと同時に自動的に情報抽出  
// 連続的な読み込みによる自動的な情報統合・3次元モデル自動作成  
  
data = search(名前が:"P1":の橋脚);  
// 自動作成された3次元モデルを検索・取得  
  
println( data:の高さ );  
// 3次元モデルの高さをコンソール画面に表示  
  
Def:data:の基礎の幅は:Q("200 cm"):である;  
// 3次元モデルの修正  
  
OutputVTK( data, output_path="tmp2.vtk" );  
// 3次元モデルの出力
```

[図28A]



[図28B]



[図29]

